校友時報

第48号
発行所 秋田縣立能代高等學校新聞部
電話 254番
編集人 村井忠治
印刷所 大勝堂印刷所

繪畫材料
書道用具　一式
安部商店
北高校通り
TEL 53

幹部側　自主性を持て
團員側　感情的行為だ

大曲高、弘前高、木曽西高その他の学校新聞で応援団及び幹部達の活動について「指導者は感情的だ」とか「応援団幹部指導的態度というものは生徒の前に立っての暴力的行為である」さらにある女子生徒は「態度が全然なっていない、始めの時はいやらしくうす気味悪く感じた」又「生徒総会で一、二年生から応援団長の態度を批判する声もあった」といって他校では団員の幹部に対する批判が非常に高まっているが、本校の場合は？と見るに他校程でもないが、団員の幹部に対する批判の内容は「幹部の感情的行為」「上級生の暴力的行為」を批判だが、一般に幹部の側では団員の非協力性と自主性のないこと、真実性のないことをあげて、その態度を批判している。以下は、応援団員が応援態度やその練習方法に対する批判である。

○　○　○　○

應援團はかく望む

諸君の理解を!!
応援部長　森田恒明

自分が部長をやり始めてから「今度自分の部で何々の試合があるから自分達も頑張るけれども全校の応援も宜しくお願いします。」と云う言葉を各部の選手から聞いた事は極く僅かである。と云うことは彼等が応援と云うものを、たいして有難く思わず。応援部の存在というものを重要視していないからかも知れない、と考えることも出来る。又不思議なことには、そういう選手から、駅頭に遠征から帰って来た選手を誰も迎えに来ていないではないか、応援部何しとる、という言葉を賜る光栄すらあずかることがある。もう少し言わせてもらうならば、応援には全然無関心な人から、幹部にとっては身も縮むような鋭い非難を浴びせかけられるのは度々のことである。これについて、自分は思うのである。果して応援部に属している数人のもの丶努力は、実際に効果を表わし、いろいろな面で活用（それは無形であるが）されているのだろうかと。

全校の諸君は、応援に対して（それは幹部の廣の審し悪しに関係なく）どんな考えを持っているのだろうか。

こう考えて来ると、自分が時々、涙が出る程叫んだり、一、二年生に愛校心云々とどなったりするのは、全々馬鹿なことに見えてくるし、実際諸君のうちにはあいつ何を云ってやがんだい、と腹の中で笑っている人もいるかも知れない応援部はたるんでいる。という声を聞く。どういう点でと反論したい。駅に行かないからか？、ここで自分ははっきり申し上げたいと思う。自分達にとって、応援よりも大切なものに勉強があるのだといやこれは私一人かも知れない。若しも諸君のうちで、応援より勉強に力を入れる奴なんかクビだ。と思う人は全校の諸君にそう呼びかけ給え。その人は自分が勉強の合間に全力を尽してやっている応援より、一層たるんでいない素晴らしい応援をすることだろう。

○　○　○

雰囲氣を良く
風紀副部長　平川嘉子

まず団服が小さいと思います。全校一体となってやるべき壮行会や応援歌の練習の時を何とわきまえているのやら、もっと楽しい会でなければならないと思います。

一年生にまじって早く覚えさせようと歌っているほゝえましい面があったのに反して、幹部という名のもとにしやならにこずいたりひどい時には足にかけたりしているのを見ましたが、あゝなると一二年生にしてみると、そっちばかり気になって、〃勝たん哉〃どころではないでしょう。「一、二年生ピクピクしなくてもよい。そしてもっと熱心になりなさい」

団長の熱意には感心しますが、感情に走る様な〃気〃が有るのを残念に思います。情熱の対象をもっと大きくしたら良いと思います。全体として迫力がないと思います

応援団幹部はガリガリやる必要があると痛切に感ずる。

幹部に下級生も
三年　三浦純一

去年も一昨年も無いくと云われたが、今年の応援団も見るべき所がない。まず一体にして生徒は熱意がない。壮行会はげきれいする会なのだが、選手の方で迷惑するような事が多いと思う。こんな事であったらやめた方がよいではないか。応援歌練習等がある度に不平が充満するが、なにに対する不平なのか見当がつかない。時々目に余った寄偶生に幹部は音頭を取らせるが、あれはあゝゆう場合仕方のない事だ。それから応援団幹部についてだが幹部に下級生を加えるべきだ。経験のない幹部がボンと前幹部卒業後で来るよりもなにかの面で都合がよいだろう又、選手の送り迎えを積極的にやらなければならないとも思う。駅に近い者を幹部に入れるとよい。

記者の目

應募バレー戦二日目、本校からも応援団が発った。六、七〇人位であったが、その前日、団幹部が勧誘した時よりもずっと多くなっていた事は喜ばしい、と団長は語っている。

本部席を寄せて貰って観戦應援したのであるが、試合進み熱戦になるや應援戦も熱戦になった聞き捨てにならぬ又、試合防害を目的？にするのもあった。特に遺憾に思われたのは準決勝の時の試合相手某校應援団の態度だ彼等は彼等の観覧席が一杯になったのか我々の後に来て応援（？）をやりだしたのである。記者は当初本校応援団なのかと思った。そして激しい憤りを感じた。しかしそれが他校生徒によるものと知って一寸気を安め得たが、暫くして

本校応援団幹部に対する信頼感は動揺せざるを得なかった。

応援団幹部の仕事は旗を振って声を枯らすばかりではない。我々も反省すべきだが、あの試合で我々の進む路がより一層明確になったと思う幹部にもっと積極的に動く事を期待しているのは記者一人でない。（T）

◇委員会報告◇

六月十六日(水)図書選択委員、応援部臨席

▼応援部予算項目一部変更の件
＝応援部提出＝可決

▼帽子に資線を入れる件
＝三年生有志提出、理由は能中時代の貴線をプライドの維持、風紀の維持、他校との区別の為＝は外面よりも内面を保つべし等の意見あって結局否決

▼図書選択委の学校に於ける位置と委員の任期の件
図書選択委の方から具体的な案を提出させてから議決することに決った。

論壇
社會と吾等

空高くさえずる雲雀、声美しく唱う鶯、彼等の美しき生涯は果して何時まで続くだろうか？小鳥の体を狙う大鷹の眼は常にきらめいている。寸時の油断にも彼等の生命は消えてしまうだろう。彼等の友とする赤い花、青い草も見ないで絶えず自己の防禦と食を求むることによって動いている。斯様に思う時、彼等の生涯はむしろ悲惨と言う外は無い。

思えば、現代の社会に生きている吾々青年、学生は丁度この雲雀や鶯の如き存在である。

社会の生存競争…。吾々青年、学生の行手は皆然りである。それは大学の倍率が高いこともそうであり、就職への狭き門でもある。これ等は社会的にも経済的にも少しでも他の者よりも有利な立場になろうとするために起る現象なのかも知れない。

吾々はこんな世の中にあまり有難くない。然しながら現在のこの状態が、吾々のこれから何十年か生きて行かねばならない社会なのであり、人生なのである。

この来るべき社会、人生に備えて吾々は学び、研究し、追求しなければならないのであるが、その過ぎ去りし数年を省みて未練があり、ぬぐい去ることの出来得ない悔いがあるならばそれは無意味な月日である。しかし反省すべき物の為に力無き崩壊の袋小路に追われたとしても、それは皆苦しい建設の途上にかける鞭であり、試練であると考えなければならない。

現在の吾々は偉大な試練に直面している。試練に直面する必然の運命を抱いて生れて来たのかも知れない。

しかし、私達は苦しみを味わい尽す者にのみ直に人生に生き甲斐を覚え、その人生に喜びがあるということを認識すべきである。私達青年の生きて行くその一瞬一瞬は時計の刻む音のように虚無の中に消えて行くものではなく、それは肉の中にも、血の中にも、意識の中にも刻き証されて行く記録である。この故に吾々の毎日の平凡なる生活が重大なのである。

このような吾々に対して、社会状勢はやがてと言わず、すぐにも苦しい斗いを私達に要求して来るに違いない。

だが私達は当面する苦難をごまかしてもならないが、又それによって挫け、希望を失ってもいけない。苦難の折重って来る時にこそ若き青年の評価も定り、個人としての真の生き甲斐もあると思う。

私達の生命は無限ではない。天によって与えられ、限られた生命その生命の一日一日をその人に与えられた義務や責任に対し、その人が最大の努力を為す為にこそ、真の意義がある。私達の周囲が、社会が、人生が、誕生し、形造られていくものと確信する。

溝を無くせよ
二B　宮崎昌子

生徒会長が自から団長となって一生懸命に応援していますことは前年度にくらべると大きな差があると思います。去年にくらべると団員が感情的であると云うことは誰もがみとめていることでしょう応援歌を歌う時の声から察して今でも、そこに何か合っていない所がある。すなわち全校生徒の心が一致していない。そこには色々な理田があることだと思いますが、三年生と二年生の間に大きな溝があるのも一つの原因であると思います。よく応援歌の練習の時など檀上に上げられるのは二年生である。この間の應援行きの時も三年生が一人しかいない。君等は愛校心が無いと云って叫ばれました。その後ホームの時に団員が人数を調査に来た時私達のクラスでも二三人は行く人がいた。これは叫ばれたので行くと云うのではなく、初めから行こうと思っていた人達なのです。どうした思い違いか知らないけれども申し込が遅れたらしいのです……となりつけることが必要なこともありましょうが、原因を考えてからでも遅くないでしよう

暴力を用いるな
一A　成田瑠美

私が応援に当って一番感じたことは、一人々々が勝手に叫んでいるという事です。どうしてあんなに注意されても一緒になって元気に歌う事が出来ないのでしょう。

選手達が試合にのぞんで応援のない事は非常に心細いでしょう。だからと云って一人一人が勝手に叫んでいたんでは唯うるさいばかりで何の意味もないでしょう。

應援が自分達には無関係で選手のみに関係のあるものではないのは自分達が良く知っている事でしよう。そして選手達を心をこめて励ましてやるのが当然ではないでしようか。だから応援は心がこもっていなくてはなりません。心をこめて歌う為には皆が一体となることが大切だと思います。

そして三年生のバ声がなくても応援の時は何時もの様にうるさくなくなるのではないでしょうか。最後は私は応援幹部の方達が暴力を用い、おどしてまでも応援させようとする事には感心出来ませんしかし、そうしてまで応援させようとする応援部の熱意もわからないわけではない。その点は感心いたしました。私達一年生もこれから一生懸命頑張ります。

三角点

▼一学期も終りに近ずいたが、学期末試験の優秀な成績を目指し各自勉強に余念が無いと思う▼過日剣道の全県大会が本校体育館？で挙行されたが、あの穴だらけの道場でケガ人の出なかったのは不思議！▼体育館と云えば最近新築された本荘高それに秋工、いずれも堂々たる近代建築を誇って本校の杉体育館は及びもつかない▼ともあれ床だけでもとりかえて立派なプレーをさせたいと思うのはあながち新聞部員の願いだけではないはず……▼それにあの狭い体操場で籠球、卓球（２）柔道、体操の各部が練習しているが、なんだか選手たちに気の毒だ▼世はデフレ時代ながらこゝだけは競技ブーム到来の感？▼体操部が十九連勝をはばまれたなぜ？そして他の各部も優勝出来なかったのは一体何が原因なのであろう。我々はけっして能高運動部が弱体化したものであるとは考えていない。しかし優勝を逸したのは事実である。平素各部の練習、そして努力は我々が満腔の敬意をはらって止まないところだ相手チームが本校にくらべてより以上の練習と努力をつづけているとしたら、これは本校運動部員にとって見のがせない重大事と云わなければならないし我が運動部のどこに弱点があるのか？我々は大いに反省しあおうではないかそして次期大会必勝の土台を築き上げたいと考える。（Y）

D.P.E. 引伸・現像・焼付
写真のことなら何んでも・・・
オリンパス商店
能代市畠町

健康の維持と向上に
加賀安薬局

革靴・ミシン・ズック靴
販賣・理修
小林商會
能代高前　TEL 1246

電力消費1/8で済む！
各種螢灯の御相談下さい。
秋田県能代市柳町
電気工事設計請負
鈴木電明社
電話　一、二七四番